

ドッジボール大会 ルール詳細 ver.3.2

試合形式	小学生は全__チームの <u>トーナメント戦</u> or <u>リーグ戦</u> とする
チーム人数	1チーム 10名前後で構成、元外野は3名 試合中の外野は 常時 3名以上とする
コート	バレーボールコートのラインをそのまま利用し、外野はセンターラインの延長線上から相手コート側に、相手コートをコの字型に囲むエリアとする
試合時間	1試合の時間は、1セット5分の3セットマッチとする（延長2分） 2セット先取したチームが勝ち
審判	主審1名 副審1名を置く(バレーボールの審判の位置) ※線審はハンドルール等で必要な場合に配置する タイマー1名を置き、試合時間と試合結果を管理記録する
ハンデ	小学生は、体格差体力差を考慮し必要に応じてハンデを設定する（ハンデの種類 ⇒ 参加メンバーを見つつ検討中） ハンデ適用時は、対象者は識別できるようにピブス等を着用する（小1~小3を対象にハンデ適用 ⇒ チーム小内の1~小3のみピブス着用） ハンデ案 … ex. 《両手投げルール》4~6年生が ピブス着用の1~3年生を狙う場合は両手投げのみ可。
開始/終了	外野は3名で開始する（開始時の外野を「元外野 もとがいや」という） 試合開始前にチーム代表者同士でじゃんけんを行い、じゃんけんの勝者がコートかボールかを選ぶ 内野の人数が0になるか、タイムアップ(5分経過)したらそのセットは終了 タイムアップ時に外野の人数が少ないチームが勝ち（終了時、戻る権利※を得ている外野を戻してからカウントする）※外野残が2名以下になるため戻れなかった外野 タイムアップ時に外野の人数が同数の場合、延長戦で先に1人アウトを取ったチームが勝ち 延長戦は2分とし、決まらなければ代表者同士のじゃんけんとする
NG行為	首から上を狙う行為 審判の指示に従わない行為
アウト/セーフ	首から上は当たってもセーフ ノーバウンドで当たった場合はアウト ワンバウンドで当たってもセーフ 当てられたボールをノーバウンドで味方がキャッチしようとし、ミスした場合、最初に当てられた人のみアウト 当てられたボールをノーバウンドで味方がキャッチ成功した場合、最初に当てられた人もセーフ 連続して二人が当たった場合、最初の人のみアウト（二人目がキャッチして落とさなかったら、二人ともセーフ） 服に当たってもアウト、髪はセーフ（首から上とみなす）
外野 ⇄ 内野	ゲーム中の外野は最低3名、元外野の3名はセット開始時は <u>タスキ</u> を着用し、最初に内野に戻る際に <u>タスキ</u> は外す（元外野はアウトを取らなくても戻ることができるので、その識別用） 内野にいて当てられたら（アウトになったら）速やかに外野へ出る 外野から相手をアウトにしたら、速やかに内野に戻る 内野→外野に行った人が相手をアウトにしたら、速やかに内野に戻る（復活できる） 外野から相手をアウトにしても、自分が内野に戻って外野が2名以下になるなら、3名以上になるまで（相手に味方が当てられ、外野に来るまで）戻れない 戻る権利を得た外野（自分が戻ると外野が2名以下になるので戻れない外野）が新たにアウトを取っても、戻る権利は自分一人分のみ有効（他の外野を戻すことはできない ※ハンデ検討中） 元外野は、アウトになった味方が外野に出てきて、外野が4名以上（自分が内野に戻っても外野残りが3名以上）になったら速やかに戻る
相手チームのボールになるケース	ボールを持ったまま相手チームのコート内に入った場合（ラインの踏み越え）、相手チームの内野ボールになる 自コートの外にボール（またはボールを持ったままの体）が出た場合、最後にボールタッチした人の相手チーム内野ボールとなる 内野（外野）からボールを投げるときまたは取るときに、ラインを踏み越えたら相手チームの内野（外野）ボールとなる（ON LINEはセーフ、OVER LINEがアウト） 味方同士（相手コートを挟む内野⇄外野）で連続5回以上パスした場合、相手チームの内野ボールとなる 相手に当てようとしたボールがスルーして味方（内野→外野、外野→内野）に渡った場合は、連続5回以上のパス状態でも、相手ボールにはならない 故意に首から上を狙うなどフェアでない行為があったときは、審判判断により相手ボールになる等のペナルティがある